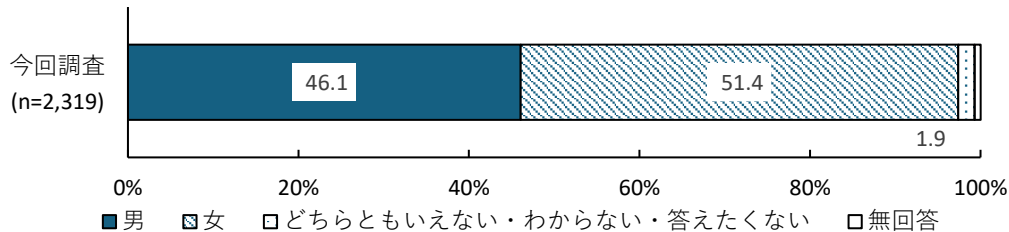


2-1. 子ども・若者意識調査分析結果(小4・小6・中1)

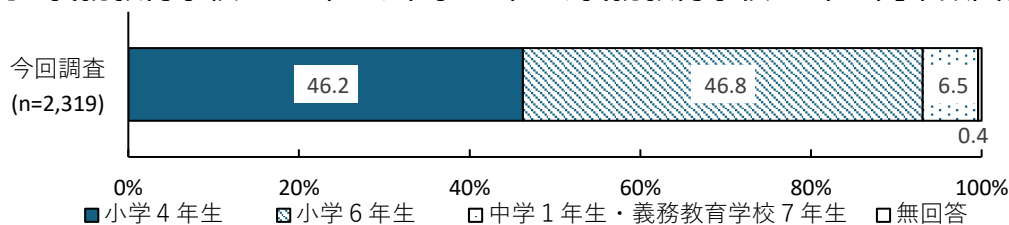
(1)回答者の属性について

- ① 回答者の男女比は女性が男性を若干上回る結果となっている。小学4年生・6年生について令和6年度に再調査を行っており、小学4年生・6年生の回答割合が高くなっている。【問1・問2】
- ② 家族構成は「お母さん」が98.1%、「お父さん」が88.9%、次いで「きょうだい」が80.7%となっている。【問4】

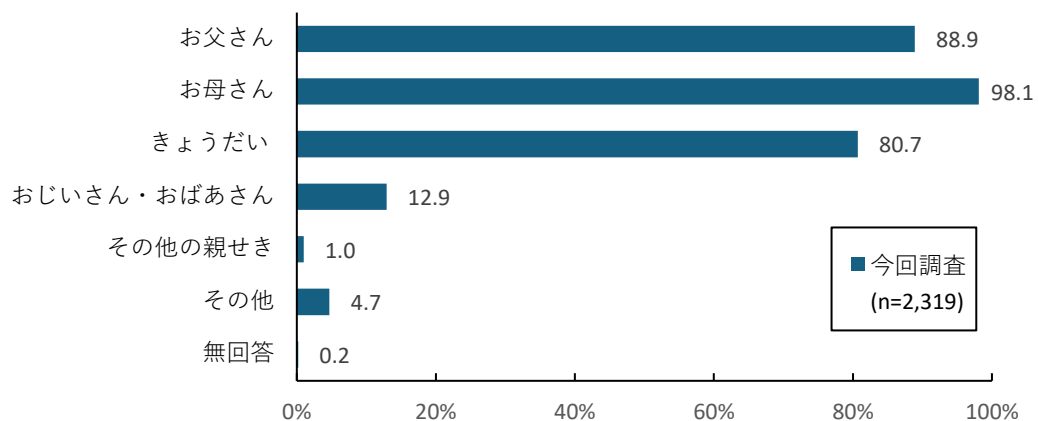
図表 回答者の性別
(小・義務教育学校4・6年生、中学1年生、義務教育学校7年生)【単数回答】



図表 回答者の学年
(小・義務教育学校4・6年生、中学1年生、義務教育学校7年生)【単数回答】



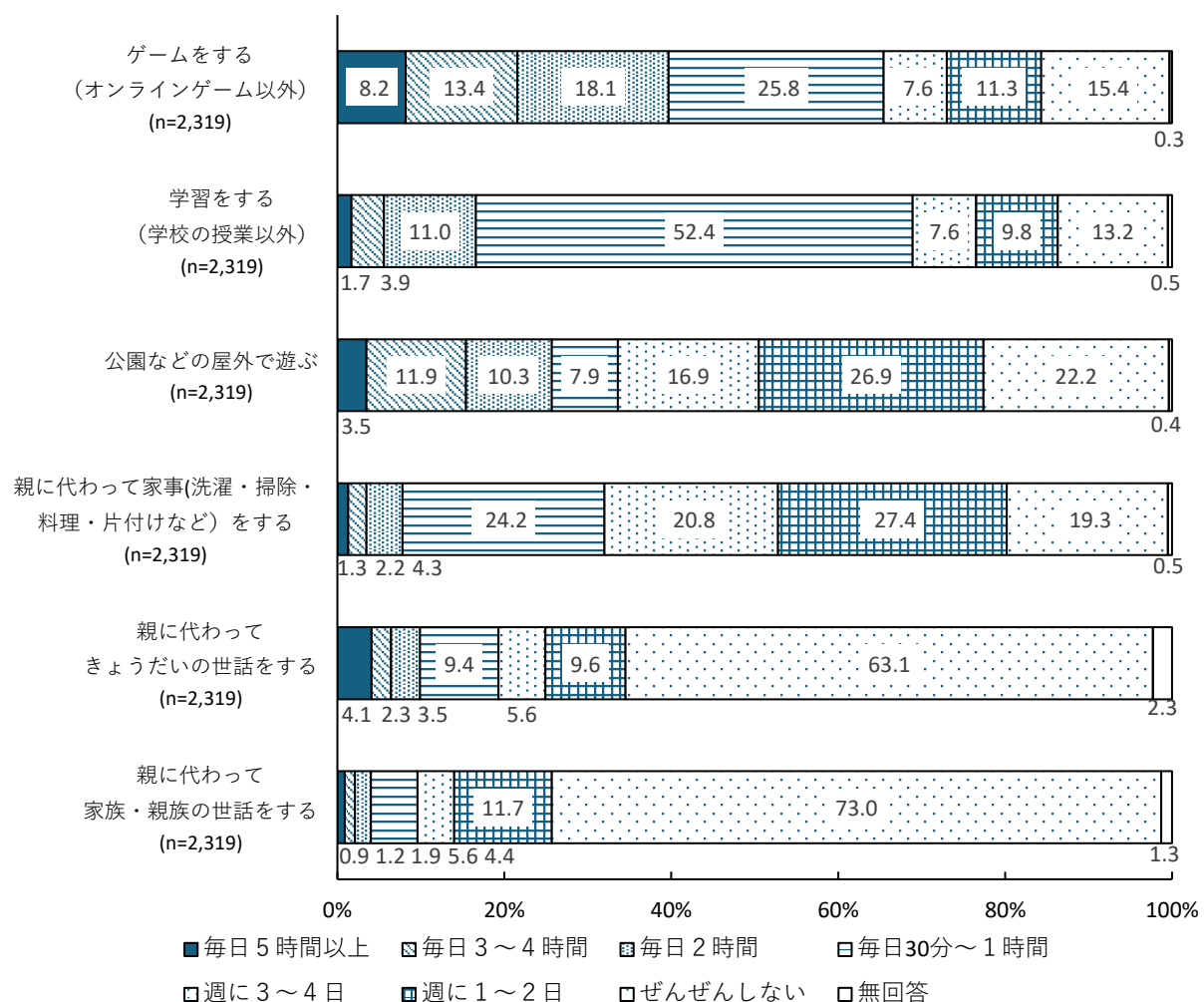
図表 回答者の世帯構成
(小・義務教育学校4・6年生、中学1年生、義務教育学校7年生)【複数回答】



(2)学校以外の過ごし方について

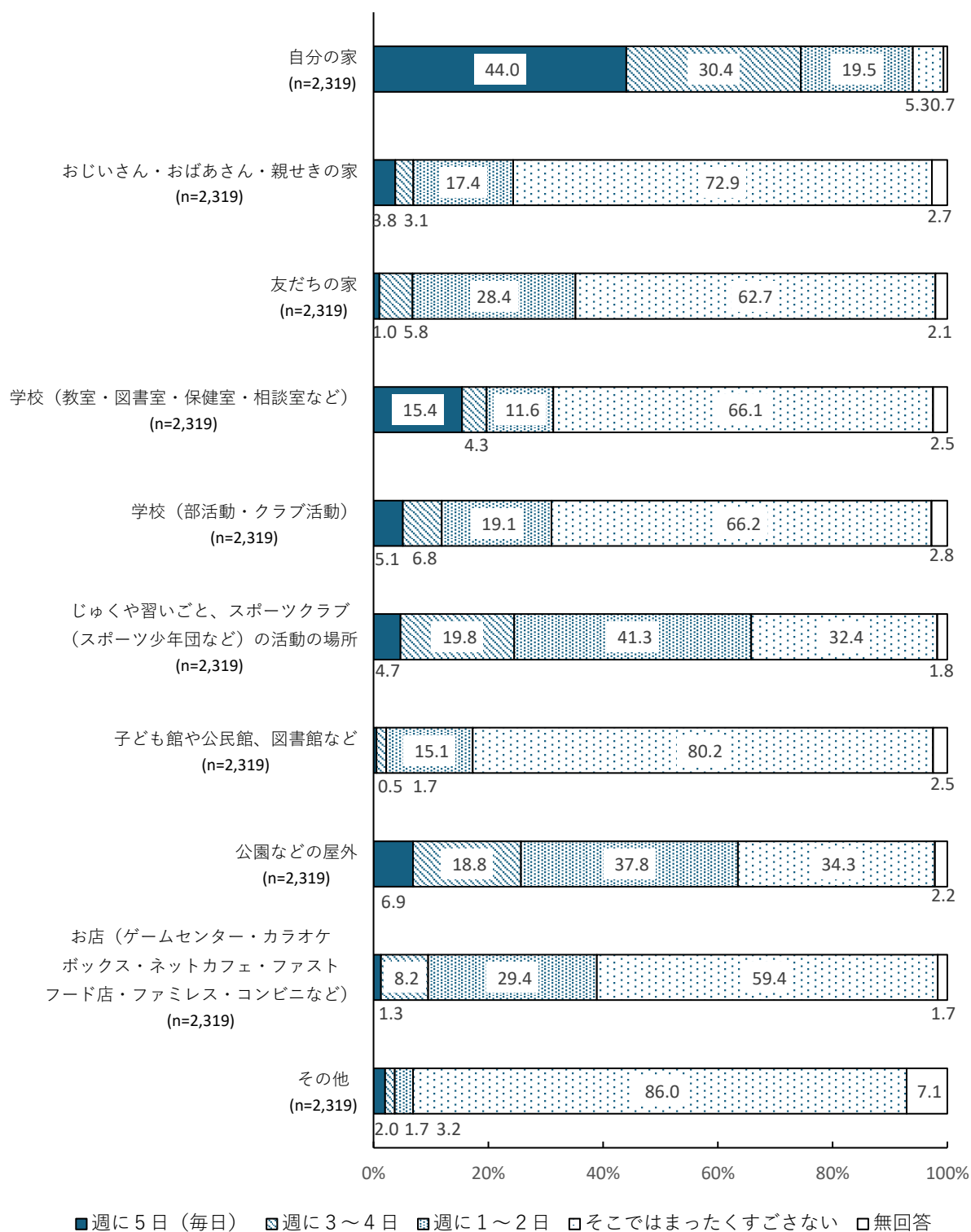
- ① 「ゲームをする」及び「学習をする」については「毎日 30 分～1 時間」の回答が、「公園などの屋外で遊ぶ」は「週に 1～2 日」の回答が最も多かった。なお、1 週間のうち、「ぜんぜんしない」を回答した割合については、「ゲームをする」が 15.4%、「学習をする」が 13.2%、「公園などの屋外で遊ぶ」が 22.2%であった。【問 6】
- ② 「親に代わって」行うもののうち、「家事(洗濯・掃除・料理・片付けなど)」については「週に 1～2日」の回答が 27.4%と最も多かった。【問 6】
- ③ 「親に代わって」行うもののうち、「きょうだいの世話をする」、「家族・親族の世話をする」については、「ぜんぜんしない」が最も多かったが、「きょうだいの世話」では「週に1～2日」が 2 番目に多い回答で 9.6%、「家族・親族の世話をする」では「週に 1～2 日」が 2 番目に多い回答で 11.7%であった。【問 6】

図表 学校以外の過ごし方
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】



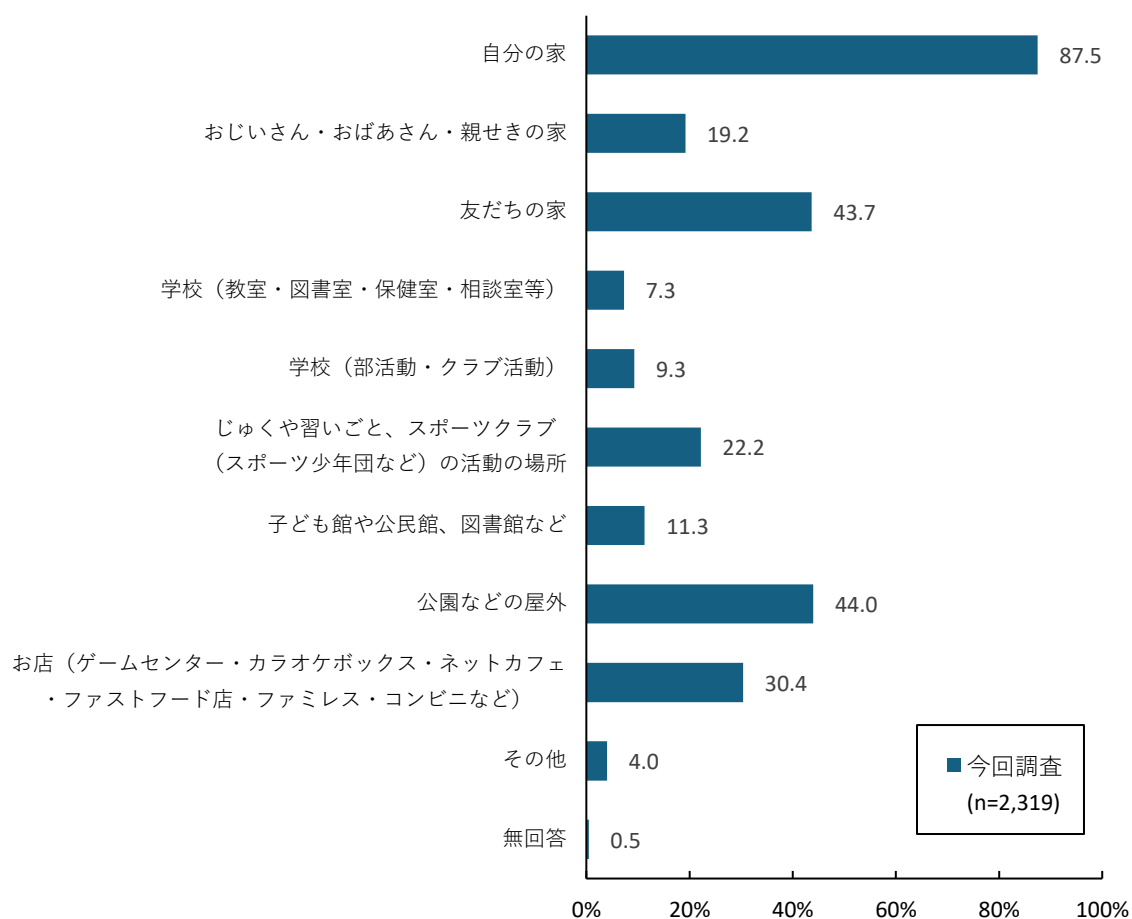
- ④ 「平日の放課後などに、自由に過ごす場所」について、回答者の半数以上が、過ごすことがある場所と回答したものの各回答率は、「自分の家」が 94%、次いで「じゅくや習いごと、スポーツクラブの活動の場所」が 65.8%、「公園などの屋外」が 63.5%であった。【問 12】

図表 放課後に過ごす場所
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】



- ⑤ 一方、「平日の放課後に、自由に過ごしたい場所」については、回答の多いものから、「自分の家」、「公園などの屋外」、「友だちの家」、「お店(ゲームセンター・カラオケボックス・ネットカフェ・ファストフード店・ファミレス・コンビニなど)」の順となっており、実際に過ごしている場所と順位が入れ替わっている。【問13】

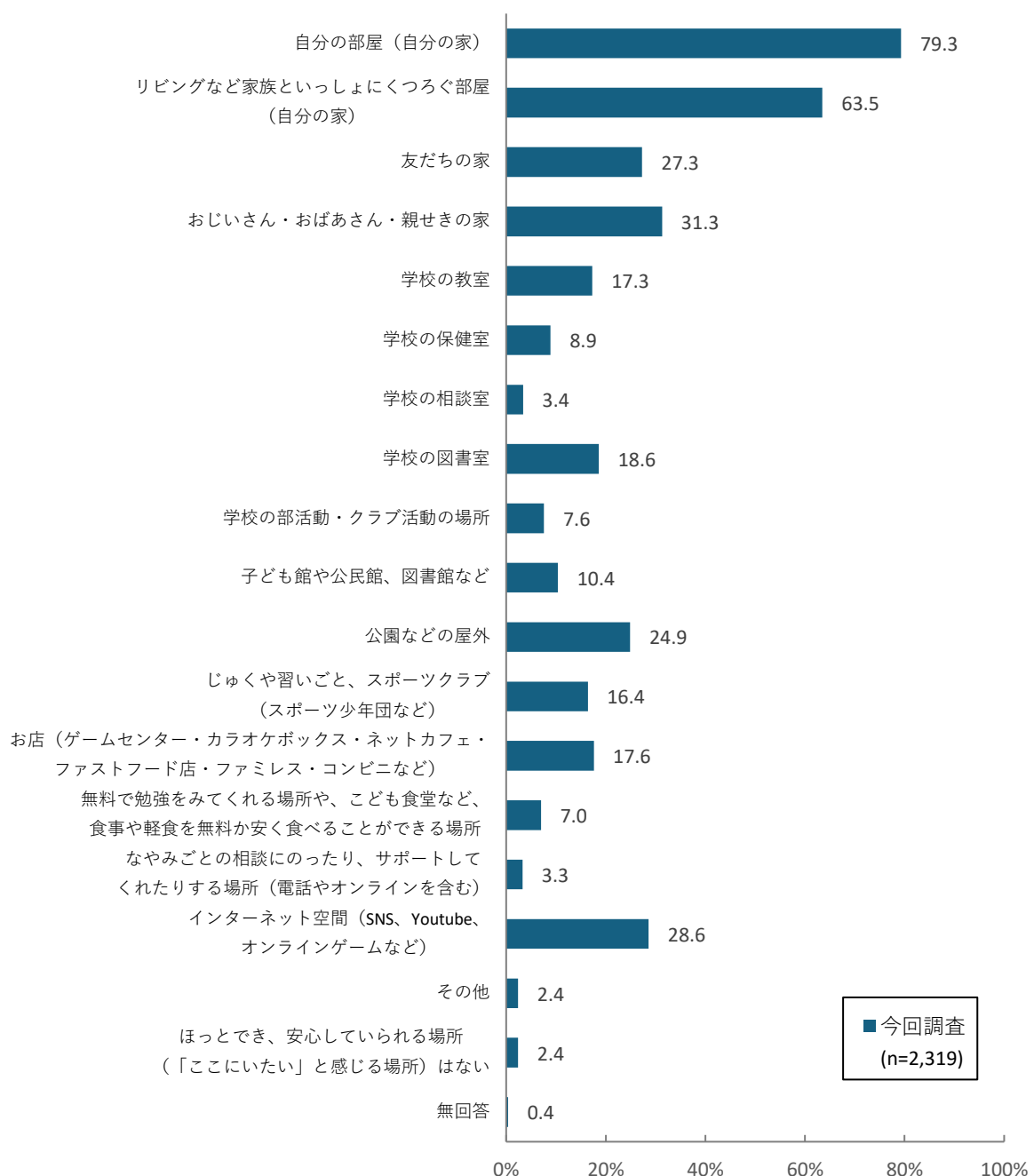
図表 放課後に過ごしたい場所
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【複数回答】



(3)居場所について

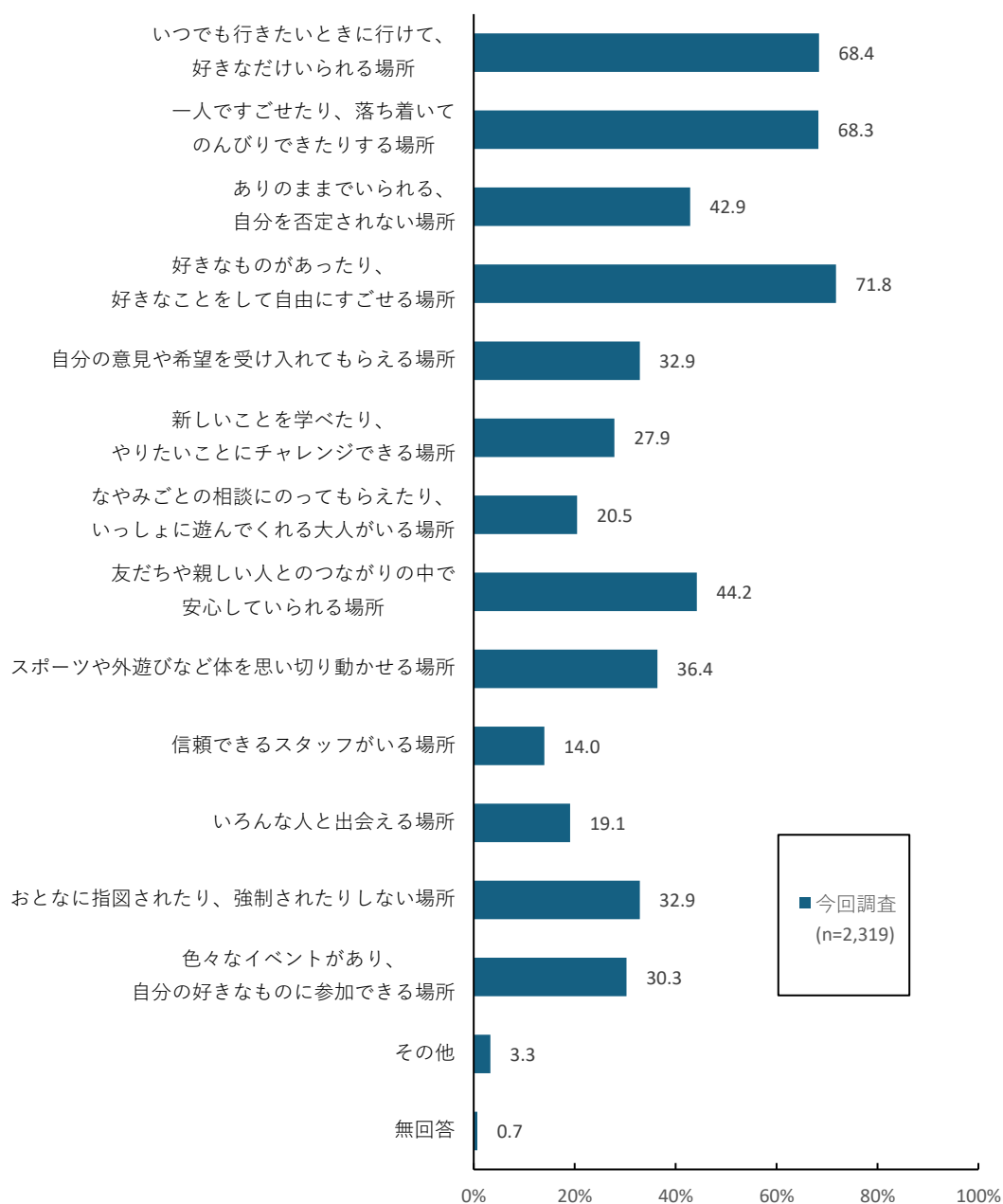
- ① ほっとできる場所があると回答した人が 97.2%いる一方、「ほっとでき、安心して
いられる場所はない」と回答した人が 2.4%であった。【問14】
- ② 一番ほっとできる場所は、「自分の部屋(自分の家)」(79.3%)が最も多く、次いで
「リビングなど家族といっしょにくつろぐ部屋(自分の家)」(63.5%)、「おじいさん・
おばあさん・親せきの家」(31.3%)、「インターネット空間」(28.6%)であった。
【問14】

図表 ほっとできる場所
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【複数回答】



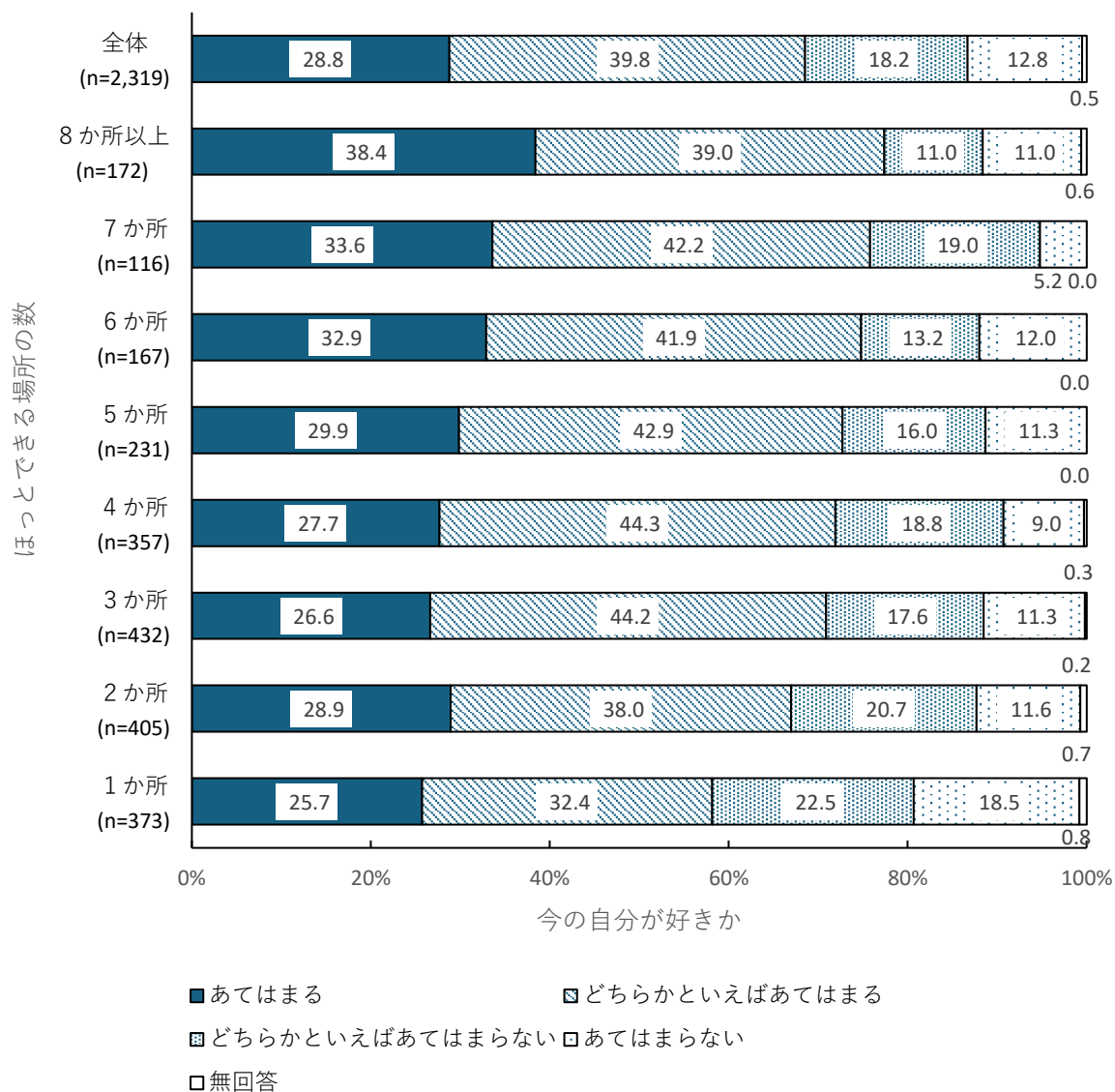
- ③ ほっとできる場所とはどのような場所かについては、「好きなものがあったり、好きなことをして自由にすごせる場所」が 71.8%と最も多く、次いで「いつでも行きたいときに行けて、好きなだけいられる場所」が 68.4%、「一人ですごせたり、落ち着いてのんびりできたりする場所」が 68.3%、「一人ですごせたり、落ち着いてのんびりできたりする場所」が 68.3%と高い割合を示した。【問15】

図表 ほっとできる場所のイメージ
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【複数回答】



- ④ 「ほっとできる場所」の数と「今の自分が好きか」という問いをクロス集計したところ、「ほっとできる場所」が多くある児童・生徒ほど、「自分を好きだ」と思う傾向が見受けられた。【問14×問26(1)】

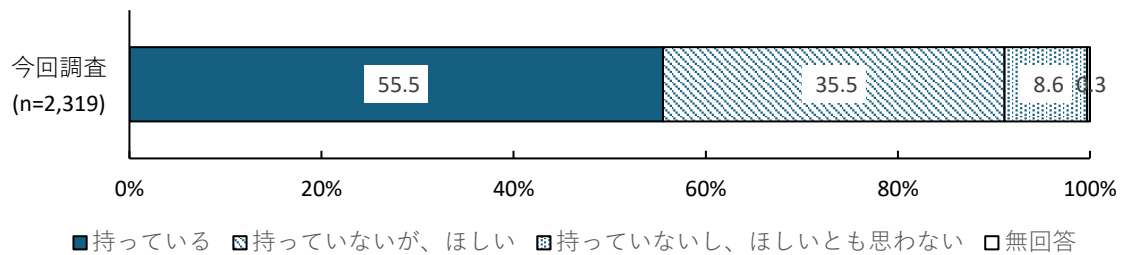
図表 ほっとできる場所の数×今の自分が好きか
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)



(4)インターネットについて

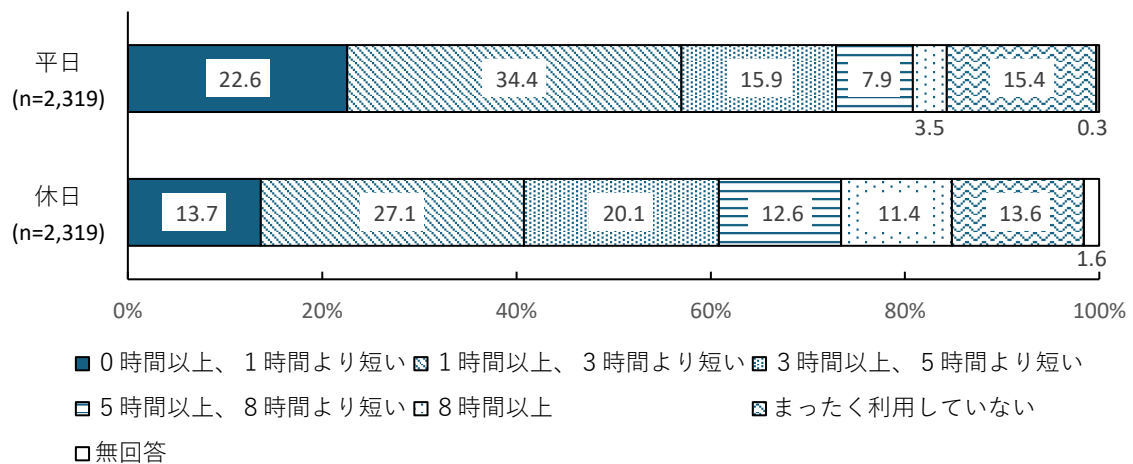
- ① 小学生の回答割合が高かったことから、スマートフォンの所有割合は、55.5%となっている。【問16】

図表 専用スマートフォンの所有状況
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】



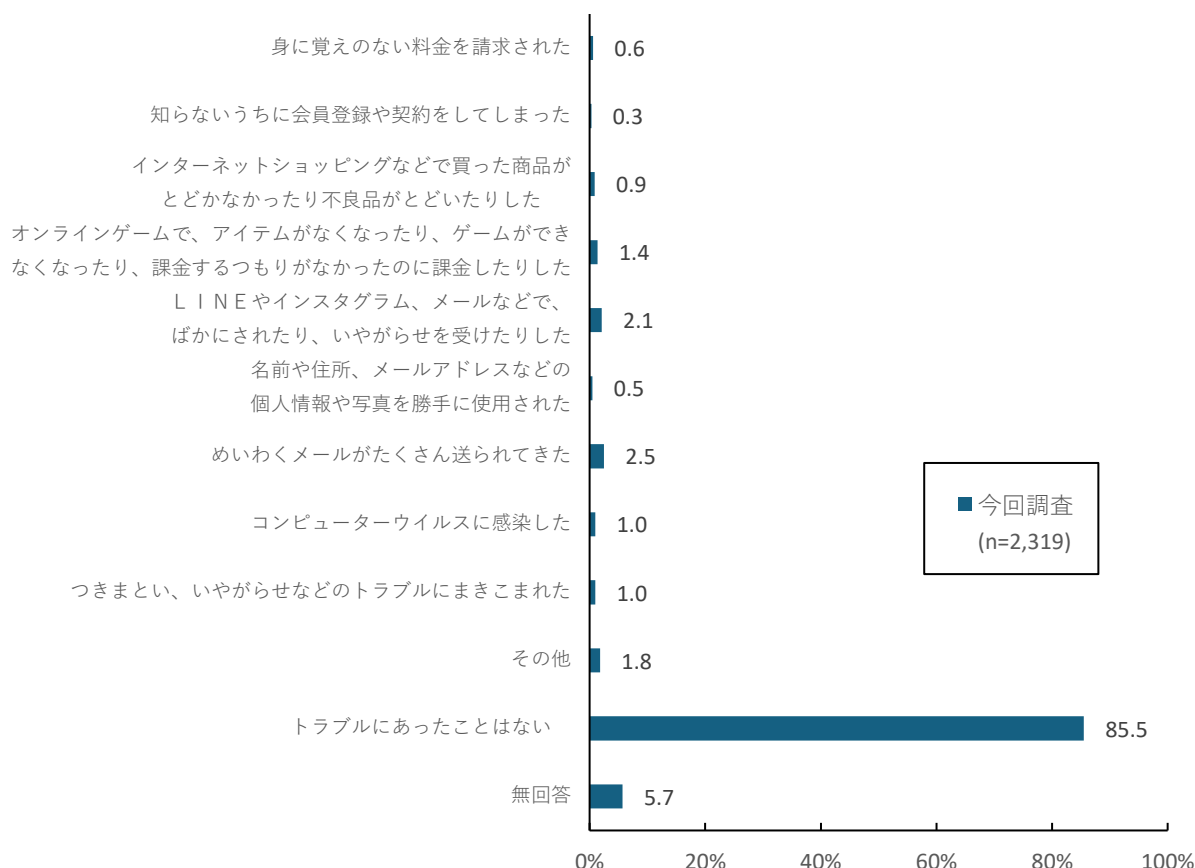
- ② インターネットの利用時間は、平日と休日のいずれも「1 時間以上、3 時間より短い」が最も多い。【問17】

図表 インターネットの利用時間
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】



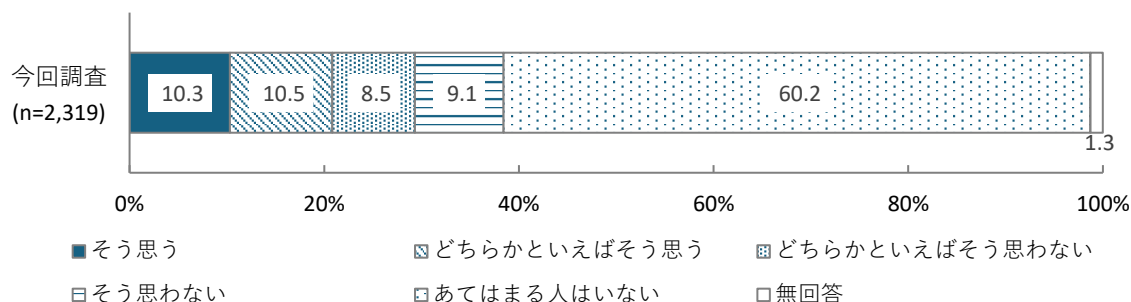
- ③ インターネットを利用してトラブルにあったことがある割合は、8.8%となっている。このうち、「めいわくメールがたくさん送られてきた」が最も多く 2.5%、次いで「LINE やインスタグラム、メールなどで、ばかにされたり、いやがらせを受けた」が 2.1%となっている。【問18】

図表 インターネットの利用におけるトラブル
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】



- ④ インターネット上で、何でもなやみを相談できる人がいると思う割合は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて 20.8%となっている。【問23(1)】

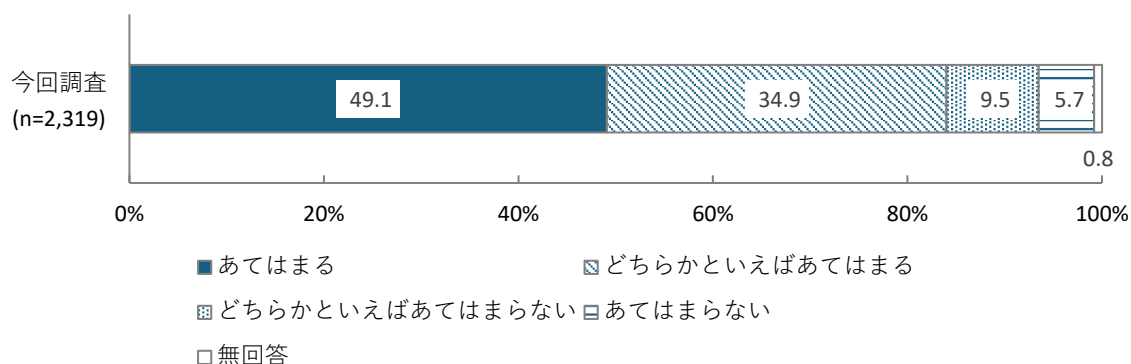
図表 インターネット上に何でもなやみを相談できる人がいると思うか
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】



(5) 学校生活について

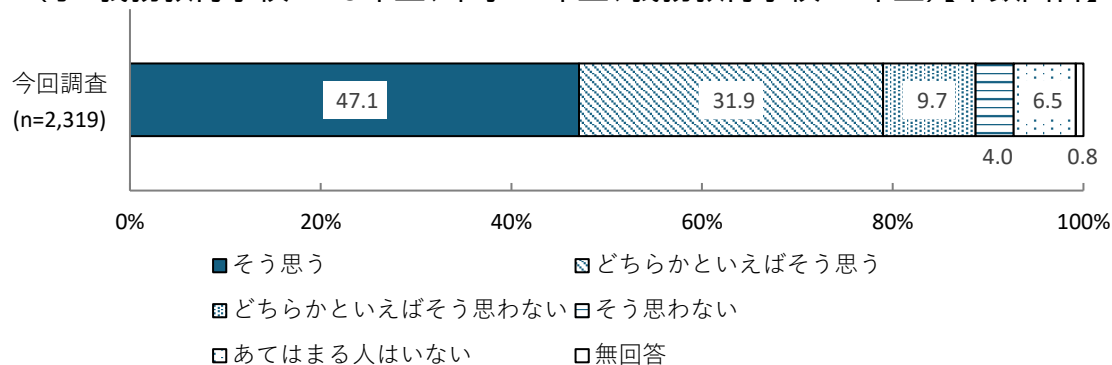
- ① 学校を楽しいと思う割合は、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせて 84.0%となっている。【問26(8)】

図表 学校が楽しいと思うか
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】



- ② 友だちとの関係について、「何でもなやみを相談できる人がいる」と思う割合は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて 79.0%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は 13.7%となっている。また、「あてはまる人がいない」と思う割合は、6.5%となっている。【問21(1)】

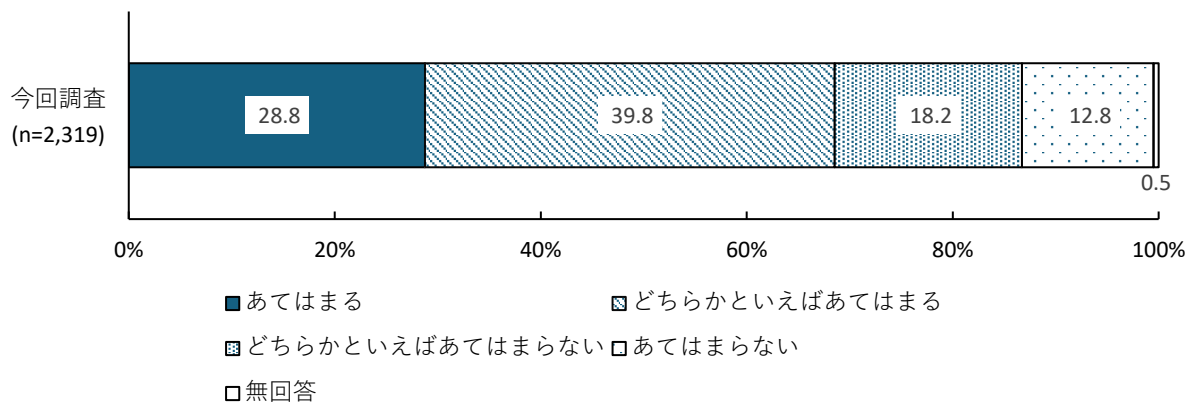
図表 何でもなやみを相談できる友だちの有無
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】



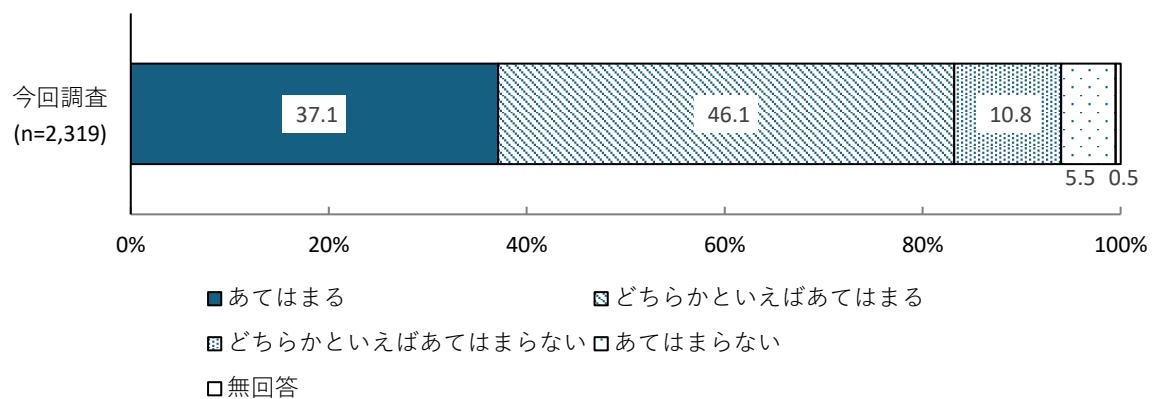
(6) 幸福感・自己評価について

- ① 「自分が好きだ」と思う割合は、68.6%、「自分は周りから愛されている」と思う割合は 83.2%となっている。【問26(1)・(2)】

図表 今の自分が好きか
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】

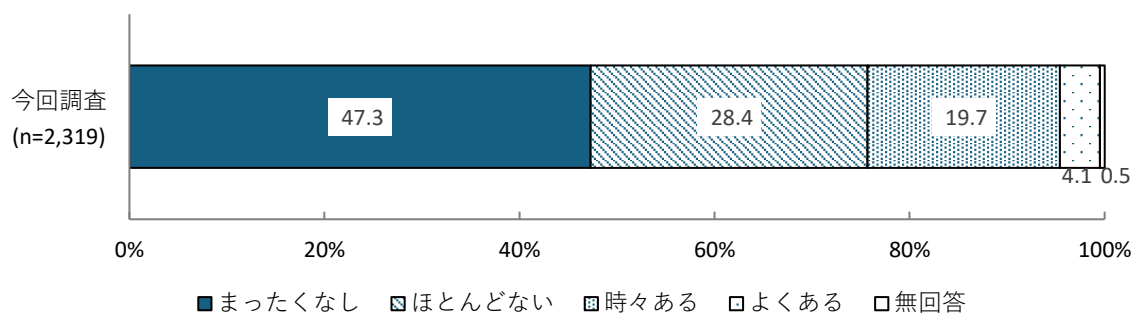


図表 自分は周りから愛されていると思うか
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】

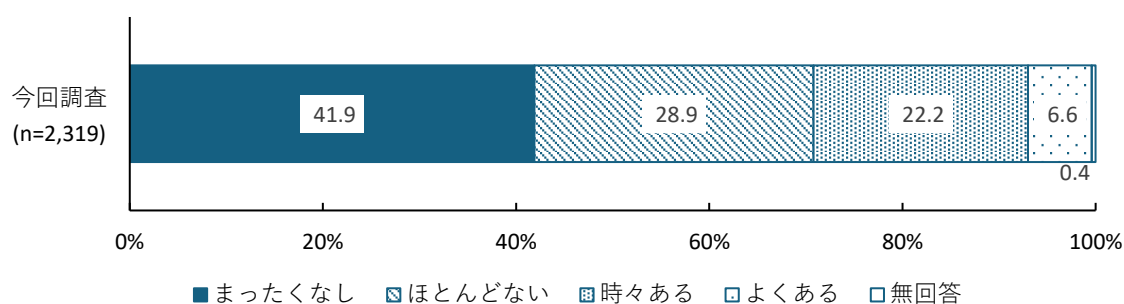


- ② 一方、「自分には話せる人がいないと感じることがある」と思う割合は、23.8%、「自分はまわりから取り残されていると感じることがある」割合は、28.8%となっている。【問27(1)・(2)】

図表 自分には話せる人がいないと感じることがあるか
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】

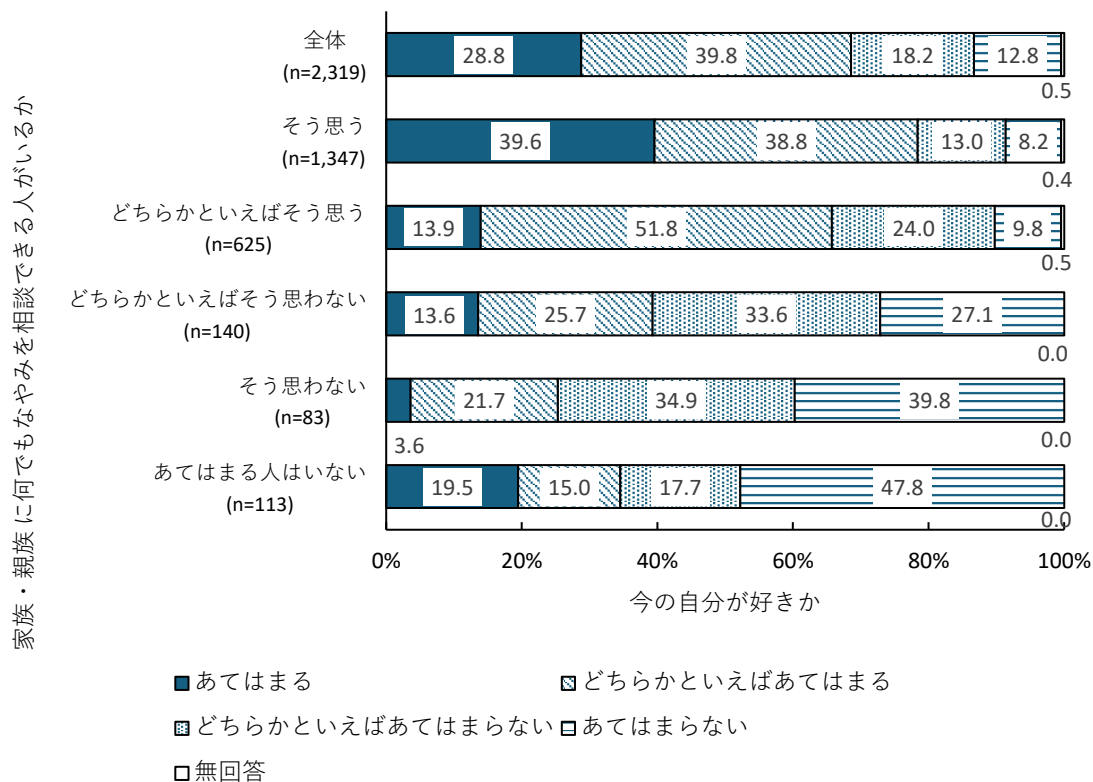


図表 自分はまわりから取り残されていると感じることがあるか
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】

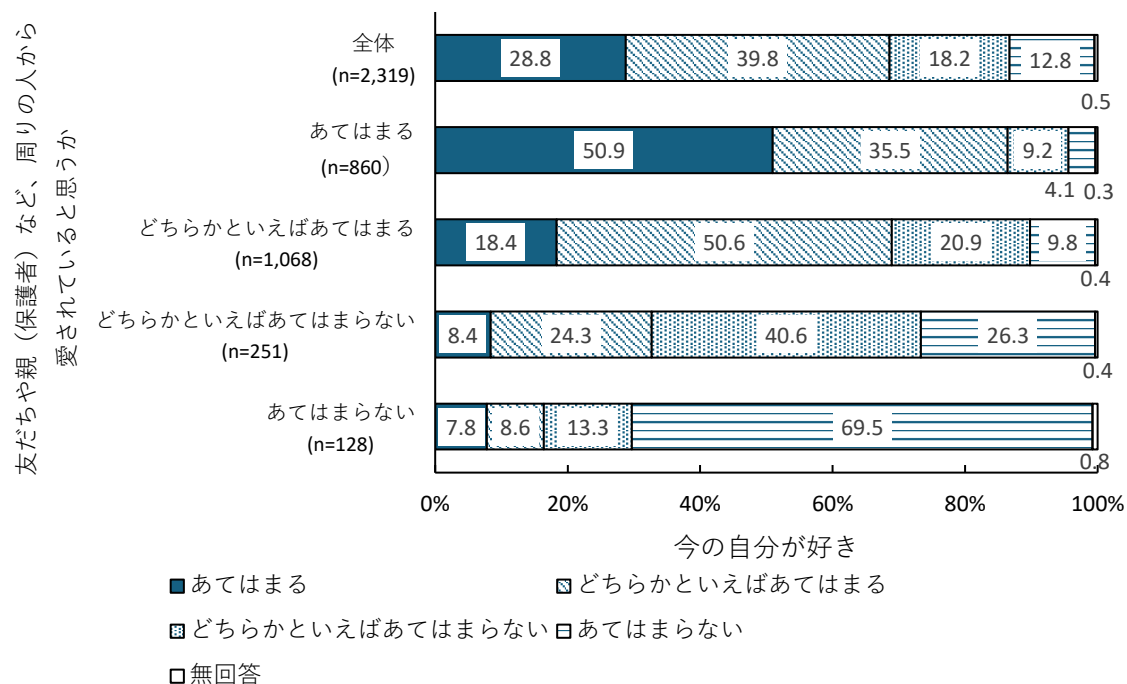


- ③ 「今の自分が好きか」という問いと、「家族や親族に何でもなやみを相談できる人がいるか」、「友だちや親など、周りの人から愛されていると思うか」、「学校が楽しいと思うか」など、さまざまな問いをクロス集計したところ、それぞれの問いに対し「あてはまる」と回答した人の方が、「今の自分が好きである」結果が示された。

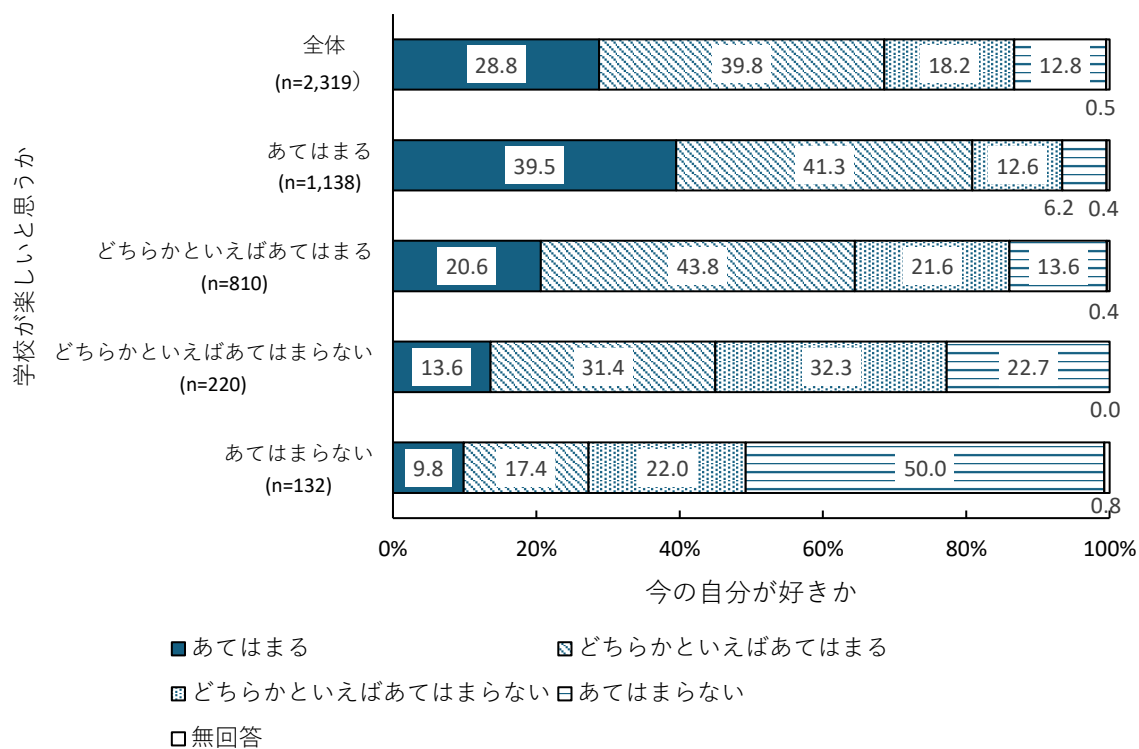
ア. 今の自分が好きか×家族や親族に何でもなやみを相談できる人がいるか
【問26(1)×問20(1)】



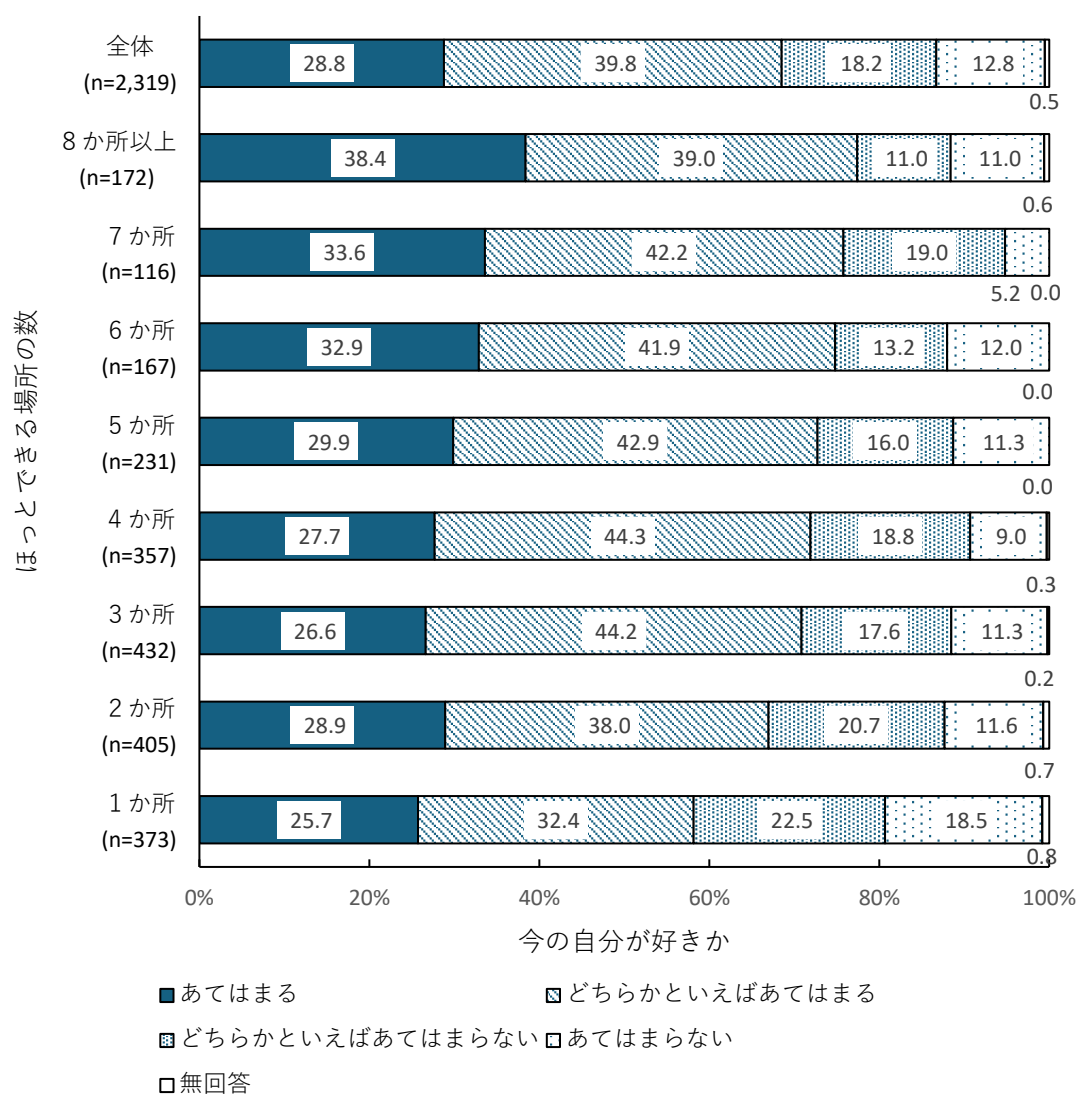
イ. 今の自分が好きか×友だちや親(保護者)など、周りの人から愛されていると思うか
【問26(1)×問26(2)】



ウ. 今の自分が好きか×学校が楽しいか 【問26(1)×問26(8)】



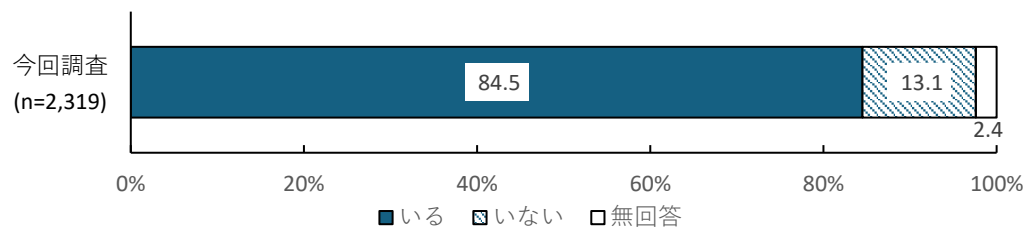
工. 今の自分が好きか×ほっとできる場所の数【問26(1)×問14】 ※P7 再掲



(7)困ったときやつらいと思ったときについて

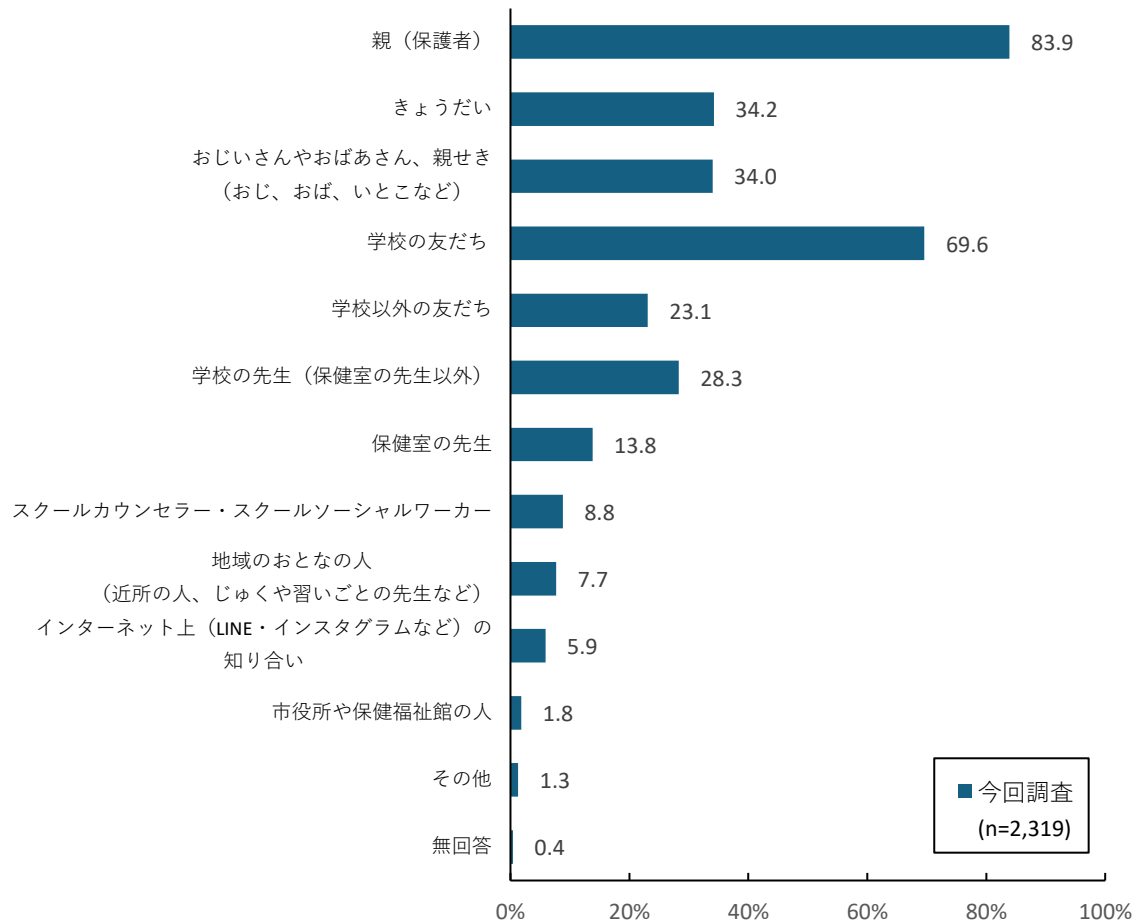
- ① 「こまったときに相談したり、なやみを話せる人がいるか」については、「いる」が84.5%、「いない」が13.1%であった。【問32】

図表 相談相手の有無
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【単数回答】



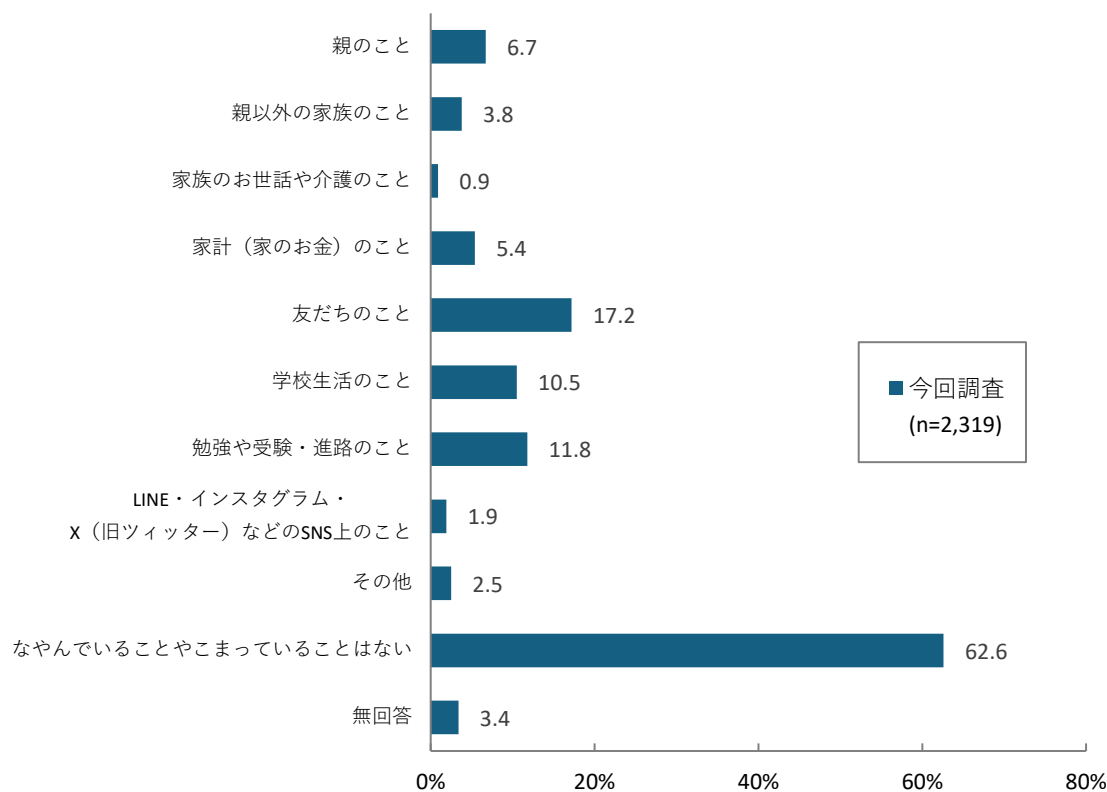
- ② こまったときやなやんだときの相談相手は、「親(保護者)」が83.9%、「学校の友だち」が69.6%、「きょうだい」が34.2%であった。なお、「学校の先生(保健室の先生以外)」は28.3%、「保健室の先生」が13.8%となっている。【問33】

図表 相談相手
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【複数回答】



- ③ 「なやんでいることやこまっていることはない」と思う割合が 62.6%である一方、「なやんでいることやこまっていること」として、「友だちのこと」が 17.2%、「勉強や受験・進路のこと」が 11.8%となっている。【問31】

図表 悩んでいることや困っていること
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【複数回答】



(8)こどもの権利について

- ① 「こどもの権利」について知っている割合は、「よく知っている」が 14.2%、「少し知っている」が 28.4%、「聞いたことはある」が 28.5%、「知らない」が 28.0%となっている。【問38】

図表 こどもの権利の認知度
(小・義務教育学校 4・6年生、中学 1 年生、義務教育学校 7 年生)【複数回答】

